

睡眠時無呼吸症候群外来について



1. 睡眠時無呼吸症候群とは

睡眠時無呼吸症候群とは、睡眠中に強いいびきと無呼吸を繰り返し、睡眠障害による生活の質の低下や、ストレスによる高血圧症・糖尿病など、種々の全身の合併症を引き起こす怖い病気です。睡眠時に無呼吸があるということを自身で気づくことは難しく、家族や同僚などに指摘されて初めて分かることが多いという特徴があり、治療が必要な方が多数世の中に潜在していると言われています。

2. 検査方法

睡眠時無呼吸の診断には、睡眠中の呼吸の観察が必要です。診断と治療方針を決定するためには、正確には一泊入院して行う終夜睡眠ポリグラフ検査が必要ですが、最初に程度を見るためご自宅で簡易検査を行います。



3. 治療

重症度の高い方には、睡眠中の気道閉塞を防ぐ治療法(CPAP:シーパップ)を行います。これは、就寝時に鼻に装着したマスクに圧を加えた空気を送り込むもので、安全で長期効果も優れています。耳鼻いんこう科の手術が適している方もいます。軽症の方は歯科口腔外科でマウスピースを製作し治療することもあります。



4. 睡眠時無呼吸症候群(SAS)外来受診方法

初診外来は、

毎週水曜日 午後3時 荒井耳鼻いんこう科部長

毎週金曜日 午後3時 笠松副院長 兼 呼吸器内科部長

が担当します。

初回の受診は、問診、検査説明を行い、2~3回目以降の再診で、診断と治療適応の決定や治療開始を進めていきます。

※紹介状をご持参していただきますが、紹介状が無くても予約は可能です。

(紹介状が無い場合は選定療養費をご負担いただきます。)

問い合わせ先

①紹介状をお持ちの方 医療連携室

月~金曜日:8時30分~18時00分(年末年始・祝日を除く)

土曜日:8時30分~17時00分(年末年始・祝日を除く)

電話:053-451-2760(直通)

②紹介状をお持ちでない方 呼吸器内科外来・耳鼻いんこう科外来

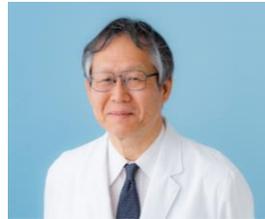
電話:053-453-7111(代表) 9時00分~16時00分(平日のみ)

ベストドクターズに選出されました。

『The Best Doctors in Japan』に矢野院長補佐(感染症内科部長)、岩瀬副院長(下肢関節再建・人工関節センター長・整形外科部長)、水田中耳手術センター長の3名が選ばれました!

ベストドクターズ社は病に苦しむ方々が最良の医療を受ける手助けがしたいという強い思いのもと、1989年にハーバード大学医学部所属の医師2名によって創業。現在70か国で3,000万人以上の方々にサービスを提供しています。

過去30年近くにわたり、各分野で優れた医師についての調査を実施し、現在この調査によって見出された医師は世界で53,000名以上、450以上の専門・副専門分野に及ぶ医師がデータベースに入力されています。2020年3月現在、日本データベースに入力されている医師は約6,500名です。なお、データベースに登録される唯一の方法は、他のBest Doctors選出医からの推薦・評価を受けることです。



院長補佐 兼 感染症内科部長 矢野 邦夫



副院長 兼 整形外科部長 岩瀬 敏樹



中耳手術センター長 水田 邦博



ふれあい



現在、呼吸器外科において肺がんをはじめとする多くの手術が従来の開胸手術から胸腔鏡下手術(内視鏡下手術)に変わりつつあります。胸腔鏡下手術は胸を大きく開けず、数カ所の孔から内視鏡と長い器械を挿入しモニターを見ながら手術操作を行うため、胸壁の筋肉や肋骨へのダメージが少ないことが利点です。

さらに近年その胸腔鏡下手術操作の精度を高めるためにロボット支援下胸腔鏡手術が導入されています。

2020年8月浜松医療センター呼吸器外科は最新の手術支援ロボット、ダヴィンチXi(米国intuitive surgical社)による手術を導入しました。

目次

- ①新しい爪の矯正治療をはじめました
- ②新型コロナウイルスについてわかったこと
- ③睡眠時無呼吸症候群外来について
- ④ベストドクターズに選出されました



発行:浜松医療センター

〒432-8580 浜松市中区富塚町328

TEL 053 (453) 7111

URL <https://www.hmedc.or.jp>

ご自由にお持ちください



新しい爪の矯正治療をはじめました

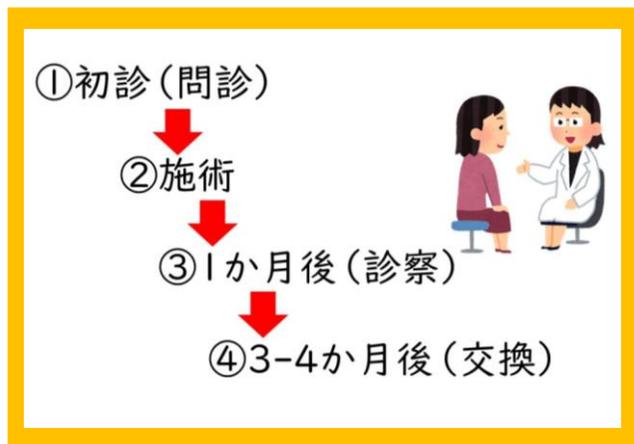
今まで当院ではコットンを爪と皮膚の間に詰める方法やテーピング、爪の先端に矯正器具をつける方法で治療を行ってききましたが、爪の曲がり強い患者さん、爪が短い患者さんには十分な効果が得られないことがありました。今回導入した特殊なワイヤー（VHO）を用いた矯正治療は、爪の弯曲が強い巻き爪の患者さんに適した治療法になります。自費診療となりますが、皮膚をメスで切ることなく、無麻酔※で行うことができ、施術直後から疼痛の軽減が期待できます。しかも施術後に爪や足の機能を損なうことがありません。爪が伸びるスピードに合わせて3~4か月に1度ワイヤーの交換を行い、半年から1年かけて巻き爪を矯正していきます。

VHOは治療効果が高い矯正法ですが、講習を受けた医師しか施術できず、この巻き爪矯正が受けられる医療機関として公表されているのは、浜松市内では、当院のみです。（2020年8月1日現在）

巻き爪で悩んでいる方は、当院形成外科へご相談ください。

※弯曲が非常に強く、施術時に疼痛を伴う場合は、必要に応じて趾の付け根へ麻酔を行います。

治療スケジュール



施術例



メリット・治療に伴う危険性と合併症

（メリット）

- ・テーピングや綿花やフィルムを爪と皮膚の間に詰めるといった保存的治療で改善しない、高度の巻き爪に有効です。
- ・手術療法と異なり、皮膚を切開することなく、多くの場合、無麻酔で治療が可能です。
- ・手術療法（部分抜爪）では、術後に爪の幅が狭くなり、爪の弯曲の悪化、趾の踏ん張る力の低下が起きますが、この方法ではそれらが起きません。
- ・爪が長く伸びていなくても治療可能です（他の保存的治療方法では爪が長く伸びていないと治療ができません）。
- ・多くの場合、施術当日から、運動、入浴が可能で普段通りの生活が送れます。

（治療に伴う危険性と合併症）

- ・感染：術後創部が赤く腫れ、痛むことがあります。多くの場合は頻回に創部の洗浄を行い、市販の消毒薬で消毒を行うことにより数日で改善します。
- ・金属アレルギー：ワイヤーの金属により皮膚炎の症状が出る場合があります。
- ・ワイヤー外れ：爪が割れたりしてワイヤーが外れる場合があります。プール、温泉などでワイヤーを落とさないように気をつけていただく必要があります。

料金

項目	初診	再診	再診 (付け替え)
初診料	4,000円		
再診料		1,000円	1,000円
処置料	4,000円		4,000円
材料費	4,000円		4,000円
合計(税抜)	12,000円	1,000円	9,000円

予約・お問い合わせ

- ①紹介状をお持ちの方 医療連携室
月～金曜日：8時30分～18時00分（年末年始・祝日を除く）
土曜日：8時30分～17時00分（年末年始・祝日を除く）
電話：053-451-2760（直通）
- ②紹介状をお持ちでない方 形成外来
電話：053-453-7111（代表）
9時00分～16時00分（平日のみ）

新型コロナウイルスについてわかったこと



院長補佐 兼 感染症内科部長
矢野 邦夫

新型コロナウイルスは感染者の口や鼻から飛び出す飛沫を周囲の人が吸い込むことによって、感染します。ときどき、ドアノブなどの手指の高頻度接触面に付着しているウイルスがそこに触れた手指に付着して、鼻や口や眼の粘膜に運ばれて感染することがあります。極めてまれに空気中に浮いているエアロゾルを吸いこむことによって感染することもあります。

潜伏期は5日程度（最大14日）であり、症状としては発熱、咳、倦怠感が多くみられます。嗅覚異常や味覚異常を経験する人もいます。約8割の患者さんは風邪症状などを呈して、軽症のまま経過し、1週間程度で治癒します。約2割の患者さんは肺炎が増悪し、呼吸困難となり、入院となります。そして、数パーセントの患者さんが重症化し、集中治療室での治療を要します。

高齢者や基礎疾患（心臓血管疾患や慢性呼吸器疾患など）のある人は重症化しやすく、致死率が高いことが知られています。CTでの病変は発症後1~2週間目まで顕著に悪化し、3週目から徐々に改善します。CT像で新型コロナウイルス感染症を確定診断することはできないので、確定診断は抗原検査もしくはPCR検査となります。血液検査ではリンパ球減少がみられ、凝固異常や炎症反応の高値もみられます。

小児については、新型コロナウイルス感染症に罹患する頻度は成人と比較して少なく、合併症の頻度も少ないことが知られています。しかし、1歳未満では重症化するリスクが高くなるので注意が必要です。妊婦の新型コロナウイルス感染症の経過は非妊婦と同じですが、重症化しやすいという報告もあります。

新型コロナウイルス感染症の診断ではPCR検査が極めて有用です。これは、ウイルスのRNAをDNAに変換してから、機械でDNAを著しく増やして検出するものです。そのため、RNAが存在しているところから検体を採取すれば陽性となります。通常は鼻咽頭（鼻腔の最も後方の突き当りの部分）まで綿棒を挿入して採取します。ただ、PCRはRNAの有無をみているのであって、生きたウイルスが存在しているかどうかは判定していません。そのため、新型コロナウイルス感染症に罹患して入院している患者さんの退院条件には含まれていません。退院時のPCRが陽性であってもウイルスを排出していなければ感染性はないからです。現在は軽症者であれば、発症してから10日が経過すればPCRを実施せずに退院することができます。

新型コロナウイルスQ&Aを当院ホームページに随時追加しています。右記QRからご覧いただけます。

